

# 平城宮第 127 次発掘調査現地説明会資料

## — 馬寮北限地域の調査 —

昭和 55 年 11 月 22 日  
奈良国立文化財研究所  
平城宮跡発掘調査部

### 従来の調査

平城宮の西辺部、西面中門と西面北門とにはさまれた一帯は、第 47・50～52・59・63・71 次の 7 次わたる発掘調査によって、諸国の御牧や官牧から毎年貢上される馬を飼育・調教する役所、すなわち馬寮（めりょう）があった場所と推定されるに至っている。その官衙域は、平城宮の西辺に接し、東西を南北塀で、北を築地で区画した東西 84m、南北約 250m の細長い区域である。この地が馬寮に推定された理由は、

- (1) 厩と考えられる桁行の長い建物が多く、これらを官衙域の周辺部に配置し、中央部を空地としていること。
- (2) 「内厩」「主馬」と墨書した土器が出土していること。
- (3) 平安宮においても、左・右馬寮は宮の西辺部に配置され、東西 35 丈（約 106m）・南北 84 丈（約 254m）と南北に長い比較的近似した官衙域を有すること。の 3 つである。

今回の調査地は、この馬寮推定地の北辺部で、この結果、馬寮地域の全体を明らかにすることができた。発掘面積は約 700㎡である。

### 調査成果

今回の調査で検出した遺構は掘立柱建物跡 5 棟分、井戸跡 1 基、築地塀 1 条である。

S B 6430 は、前回の調査（第 59・63 次）でも一部が検出されていたが、今回の調査によって南北に底をもつ桁行 14 間以上（柱間 8 尺）、梁行 4 間の長大な東西棟であることが判明した。

S B 6469 は、前回調査分とあわせて 7 間×<sup>Z</sup>7 間の東西棟（柱間 8 尺等間）であることが判明した。これは S B 6430 の柱掘形を切って建てられている。

S B 01 は、3 間×2 間の東西棟（柱間桁行 8 尺、梁行 7 尺）で、この南柱列は S B 6469 の南柱列の延長上にある。

S B 02 は、前回調査分とあわせて南北 5 間（柱間 9 尺）が確認されたが、妻柱が南北ともに存在しない。梁行は 18 尺である。

S B 03 は、桁行 3 間（柱間 6 尺）・梁行 2 間（柱間 7 尺）の総柱の南北棟で、馬寮北限の築地 S A 6475 が廃絶した後にその上に建てられている。

築地 S A 6475 は、上部を大きく削平されているが、南側溝が比較的よく残っている。

### まとめ

今回の調査では 3 時期以上に及ぶ建て替えが明らかになったが、従来の馬寮官衙域の発掘調査でも 3～4 期にわたる建物群の存在が明らかになっている。馬寮の変遷については、今後出土遺物などの検討を経た後に正報告によって明らかにするつもりであるが、現在までの成果を次にまとめておきたい。

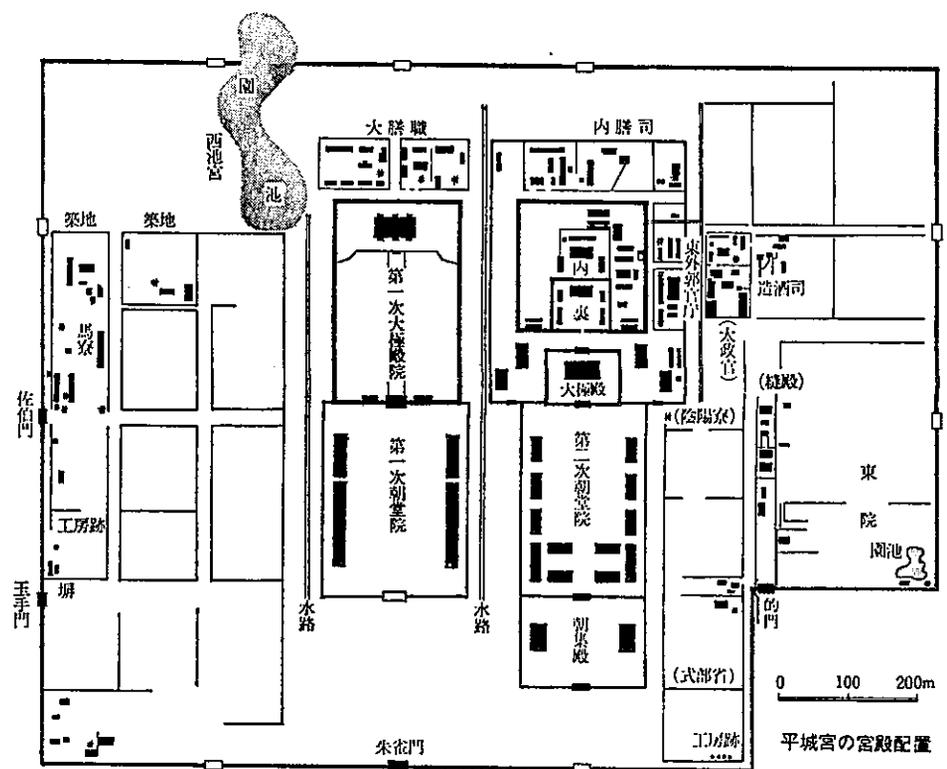
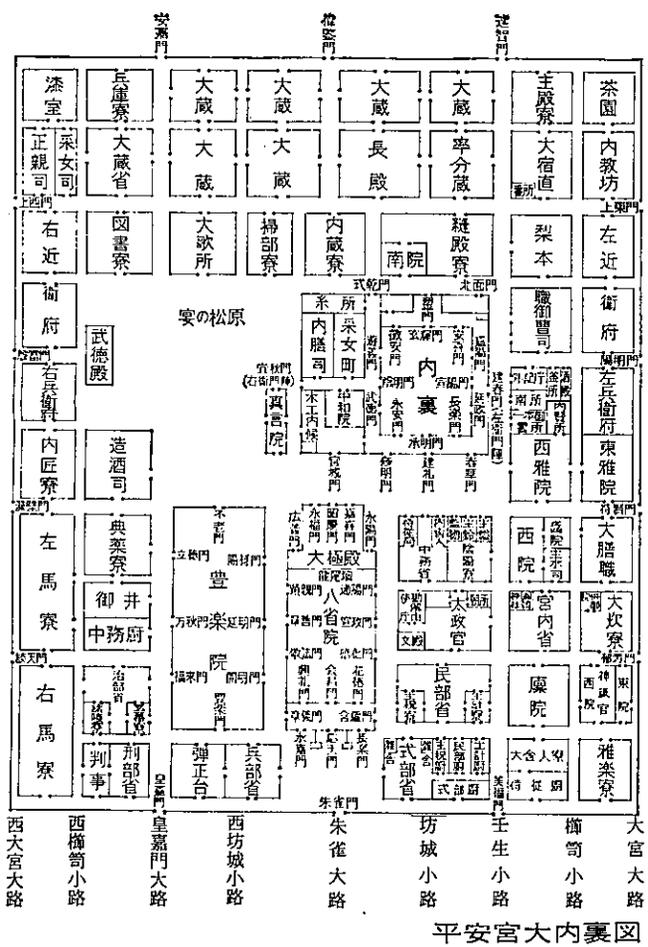
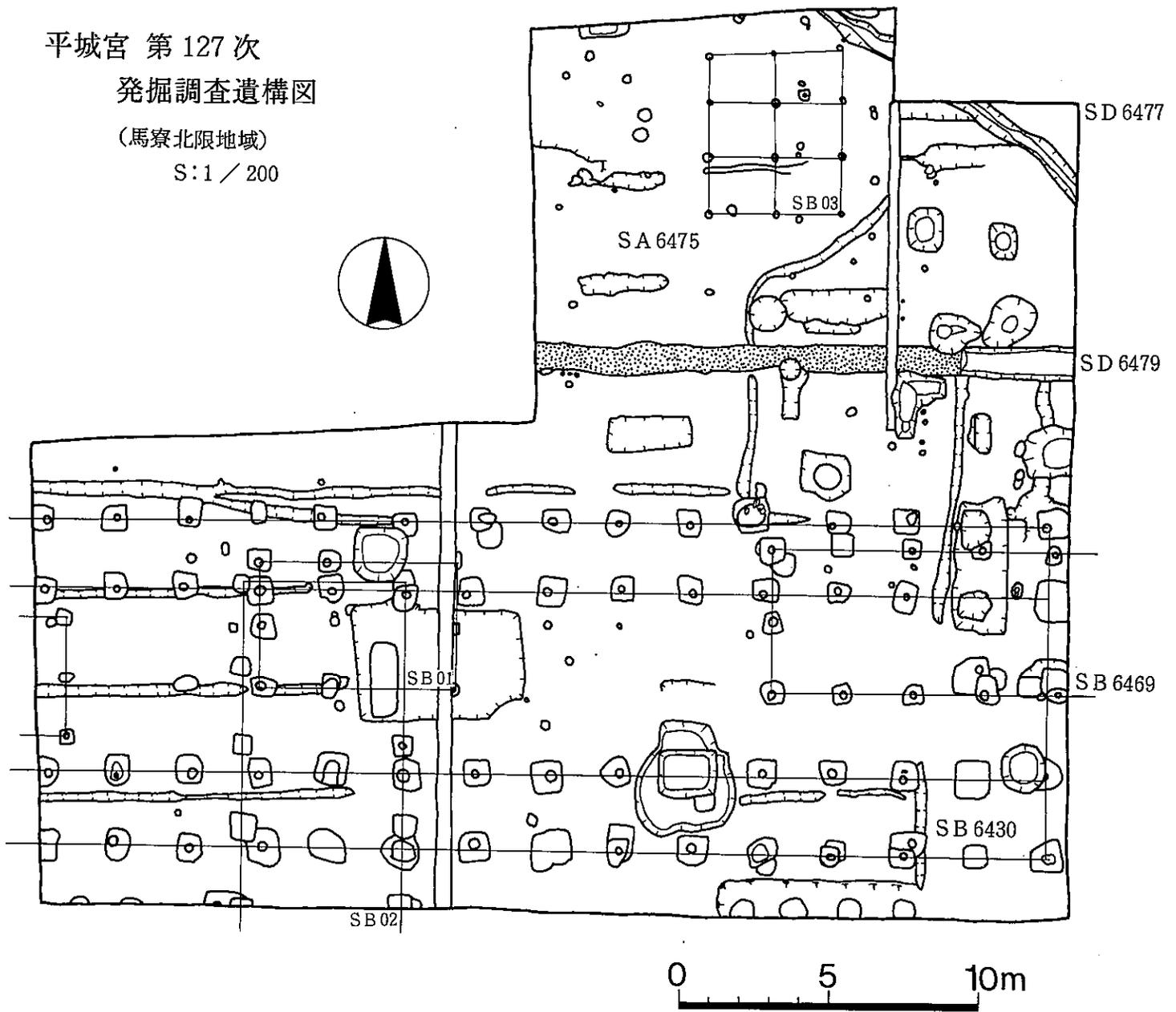
造営時（A 期）の馬寮は、北を築地（S A 6475）、東西を掘立柱塀（S A 3680・5980）とする東西 84m・南北約 250m の区画で、官衙域内の北に正庁と思われる東西棟（S B 6450）と付属建物（S B 6180・6187 など）とを有し、厩舎と思われる長大な南北棟を北・東・南に配し（S B 6425・6168・5955・3690・6100）、西寄の中央部を空地としていた。

B 期になると、西を区画していた塀（S A 3680）がとりはらわれて、官衙域は西面大垣にまで拡大したようである。この時期の建物は官衙域の北半部に集中し、南半部を空地として残している。北の中央に庁舎と思われる建物群（S B 6185・6195・6385）を置き、その東西と北に長大な建物がめぐる（S B 6400・5951・6172）。また西面大垣に接して鍛冶工房 S B 6360 が設けられた。今回の調査で検出した長大な建物 S B 6430 もおそらくこの時期のものであろう。

C 期は基本的に B 期に近似した建物配置で建て替えがなされているが、規模が若干縮小するようである（S B 6190・6381・6420・6175・6401）。今回の調査で検出した S B 6469 や S B 01 も恐らくこの時期のものであろう。

D 期は平安時代にまで下降し、この時期には北築地 S A 6475 などの区画は廃絶しており、馬寮官衙域の南に、方位をやや東にふった小さな建物群が集中する傾向があり、この時期はさらに細分することも可能である。今回の調査で検出した S B 03 も恐らくこの時期のものであろう。

平城宮 第127次  
 発掘調査遺構図  
 (馬寮北限地域)  
 S:1/200



平安宮と平城宮の官衙配置

# 馬寮遺構配置図

